

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センタースイスイなかま（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年11月29日		～ 令和7年3月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年3月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との共有を大切にしている。	原則、保護者に送迎をおこなっていただくこととし、日頃から情報を共有しやすいようにしている。支援計画の面談時以外でも面談をおこなっている。必要に応じて、学校等に対する情報提供や会議を行うこともある。	日頃の子どもや保護者の観察及び面談を通してニーズを把握し、将来を見据えた支援の提供をおこなっていきます。各関係機関との情報共有を図り、保護者を交えた面談の設定や専門機関の案内、情報提供などを保護者の方が安心して子育てをおこなえるよう行って参ります。
2	圏域の地域療育を担っている療育相談員が同じ法人内に配置されており、職員が療育支援困難なケースについて相談できる環境が整っており具体的な支援アドバイスを受けることができます。迅速な対応が可能であると考えております。	日頃から高い専門性を持った療育相談員との対話を通して、課題解決の方法を学び取る。療育的視点をもって児童を観察する力を身につけていく。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後等デイサービス等他の事業所の様子を知る機会が少ない。他の事業所がどのように課題に取り組んでいるかを学ぶことで、自分の事業所の課題解決に役立つヒントを得られる機会を作りたい。	予算的に厳しい財政状況にあるため、余裕を持った職員の配置体制が整えられない。他の事業所を見る機会が困難となっている。	他の事業所見学ができなくとも各関係機関等からの情報収集をおこなうことで課題解決のヒントを得ていく。活動後のフィードバックを大切にどの活動が効果があるのか、どのような点を改善すべきかを振り返る。常に“なぜか”を意識した療育をおこなっていく。
2			
3			